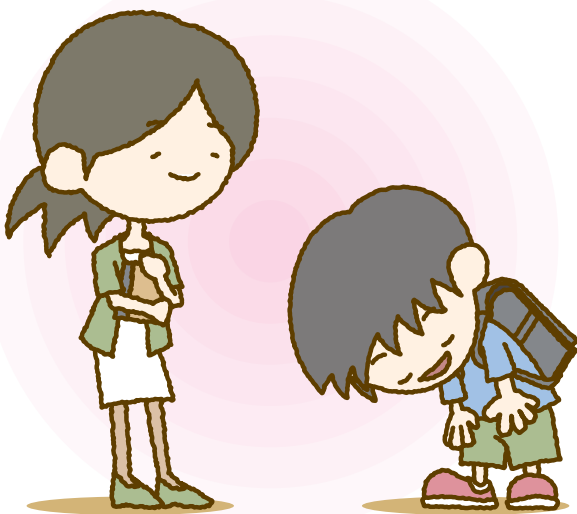


1

きょう
いちにちげんき
今日も一日元気よく



おはよう！

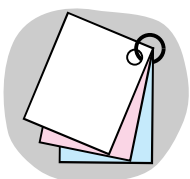
朝、起きたら家族に「おはよう」、

出かけたら近所の人に「おはよう」、

学校では先生や友だちに「おはよう」と、

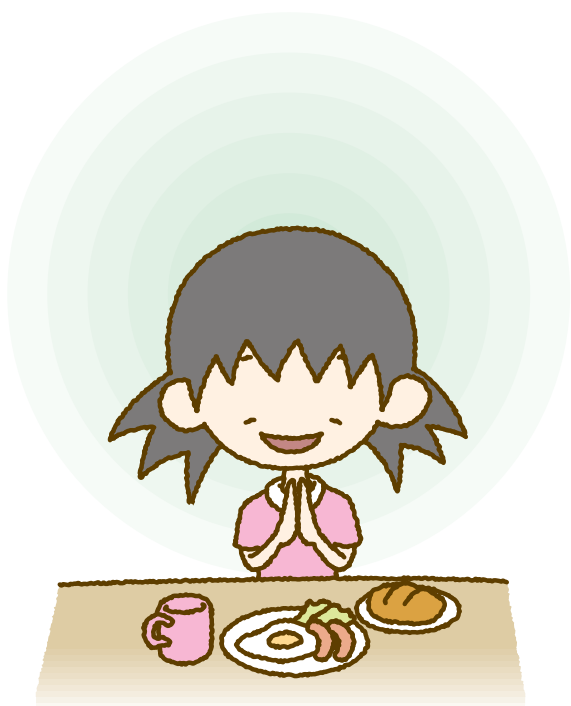
元気よくあいさつをすれば、

すがすがしい気持ちで一日がすごせます。



2

食事のあごねし
ごいんご



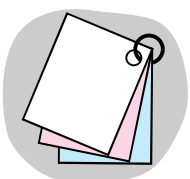
「いただきます」「ごちそうさま」

「いただきます」の由来は「感謝」の言葉から来ています。

「いただきます」は、感謝の気持ちを伝える言葉です。

「ごちそうさま」は、食事のあとに言う言葉です。

「いただきます」「ごちそうさま」は、感謝の気持ちを伝える言葉です。



3



やさしくしてもらったら

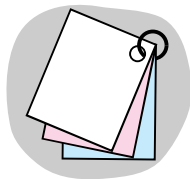
ありがとう

人に親切にしてもらったら、

かならず感しゃの気持ちを言葉にして

「ありがとう」と伝えましょう。

「ありがとう」は、自分も相手もよい気持ちになれます。



4

失敗したら・・・
まちがえたら・・・



「ごめんなさい」

あやまることは、たいへんゆう気のいることです。

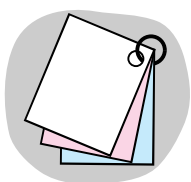
大切なのは、気持ちとタイミング。

自分のまちがいやしっぱいは、素直に認め、

「ごめんなさい」という言葉でつたえましょう。

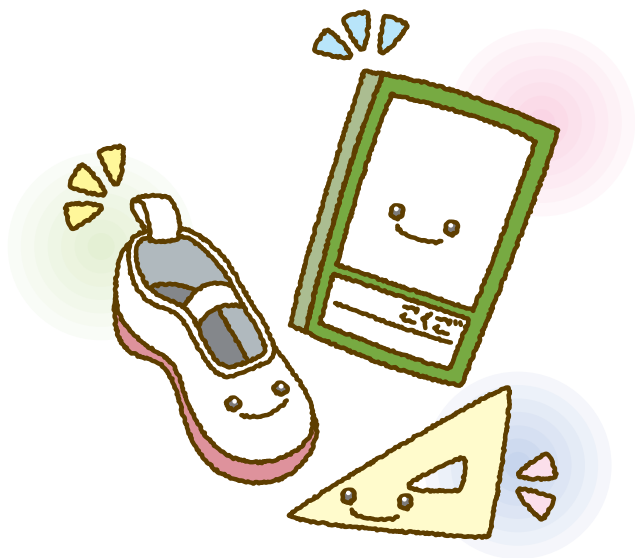
まずはあやまることが大切です。

そうすれば、おたがいに気持ちよくすごせます。



5

持ち主はだあれ？



名前を書こう

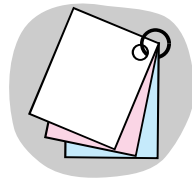
自分の持ち物すべてに名前を書きましょう。

もしどこかでもなくしても、名前が書いてあれば

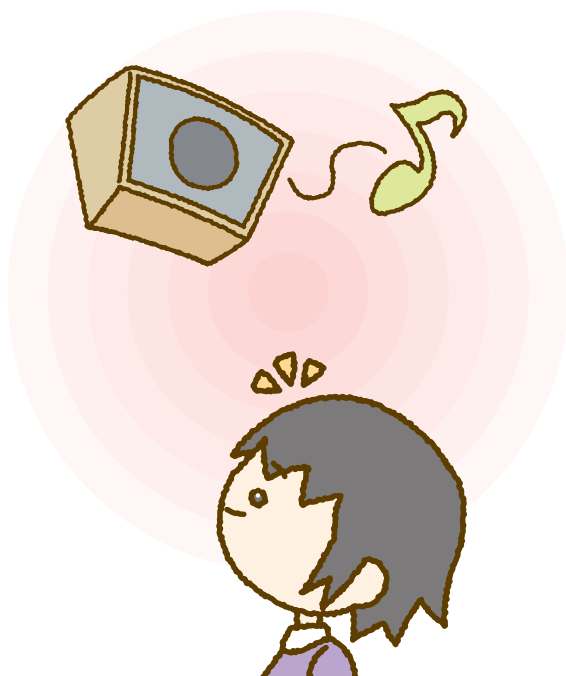
もどってきます。

学校のもの、友だちのもの、自分のものなど、

ものを大切にする第一歩です。



6



ち
ゃ
い
む
が
な
鳴
っ
た
ら

せきに着よう！

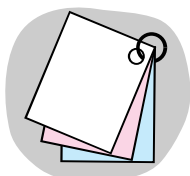
休み時間は、トイレに行ったり、

勉強の用意をしたりして、

次のじゅ業の心のじゅんびをする時間です。

時間を守って、

チャイムが鳴ったら、せきに着きましょう。



7

身^みだしなみを



整えよう！

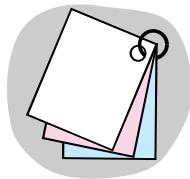
くつのかかとをふんでいませんか。

シャツは出ていませんか。

身だしなみを整えることは、

自分もまわりの人も気持ちよくすごすための

心づかいです。



8



学校がっこうにいら
ないものは？

持つてこない

ゲームやおもちゃ、けいたい電話など、学校に

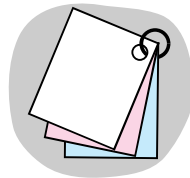
ひつようないものは、持つてきてはいけません。

理由があつて、持つてくるときは、先生に相談し

ましよう。

こわれたり、なくなつたりしてトラブルになると、

みんなが悲しい気持ちになります。

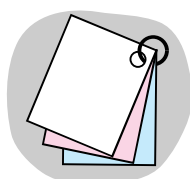


9

正しいことばづかい ただ



できていますか？



お父さんやお母さん、近所の方、先生など、

年上の人には、ていねいな言葉で話しましょう。

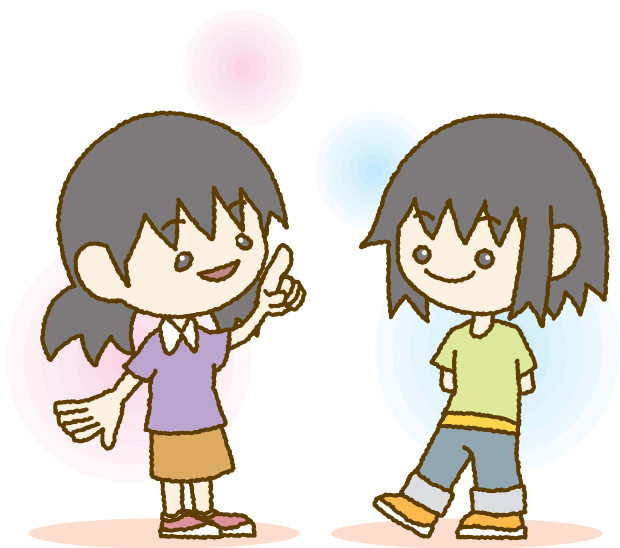
また、らんぼうなことを使っているよ、

人の心をきずつけてしまう場合もあります。

ふだんから美しい言葉づかいができるよう、

心がけることが大切です。

10



相手の目を見て (1)

話を聞こう

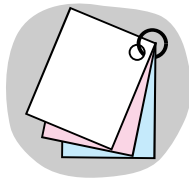
人の話を聞くときは、話をしている人の目を見て聞くようにしましょう。

よそ見をしたり、ほかのことをしながら聞くのは、よくありません。

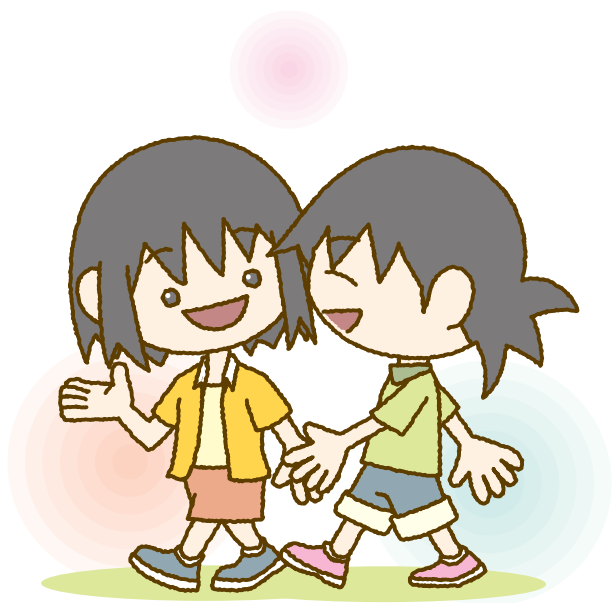
また、あいての話が終わるまで、話しかけず、じっくり聞くことが大切です。

人の話をしっかり聞くことは、かんたんなようでとてもむずかしいことです。

人のかかわり合いの中で、どんなことに気をつけたらよいか考えてみましょう。



11



相手の目を見て (2)

話をしよう

人と話すときは、相手の目を見て話さないで、

あなたが言いたいことを一生けんめいに

伝えているようには思えません。

相手の目を見て話すと自分の気持ちも

きっと伝わります。

